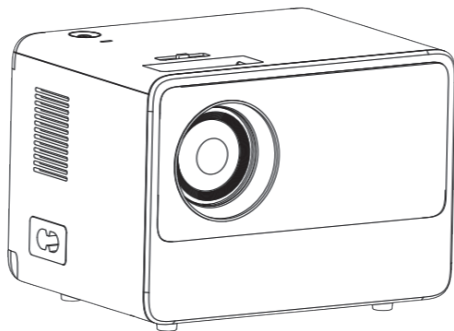


DBPOWER

ミニ LCD ビデオプロジェクター K11

取扱説明書



Power Your Life

ありがとうございました

DBPOWERミニプロジェクターをご購入して本当にありがとうございました。DBPOWERはお客様の日常生活を高める製品を提供することと約束しています。それに、お客様へより良い使用体験を提供するためにも努めています！若し商品ご使用には何かご不明な点や疑問がございましたら、ご遠慮なく弊社のアフタサービスにまで連絡してください。

✉ 連絡先: service@dbpowershop.jp

☎ 電話: 03-6851-2070

📞 LINE: [futuro.jp](https://line.me/tv/futuro.jp)



もくじ

はじめに	02
パッケージ内容	02
安全上の注意	03
プロジェクターの設置	07
準備する	08
各部の名称	08
リモコン	09
本体	09
電源の接続	11
プロジェクターを電源に接続する	11
電源ON/OFF	11
マルチメディア起動画面	12
焦点とキーストーン補正	14
他の機器と接続する	15
USBカードからメディアを再生する	15
AVビデオ接続	17
HDMI接続	18
3.5mmオーディオ接続	19
メニュー設定	20
メニューを使う	20
操作しかた	20
写真	21
音声	22
投影	22
時間	23
設定	24
Bluetoothスピーカーに接続する	25
スクリーンミラーリング	26
IOSシステム用	28
Androidシステム用	30
よくある質問	34
製品の特徴	01

パッケージ内容



AV信号ケーブル



リモコン
(電池は含まれていません)



HDMIケーブル



電源ケーブル



説明書 (保証書在中)



高さ調整用ネジ

安全上のご注意

本製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

■ 絵表示の意味

危険


この表示の注意事項を守らないと、火災・感電による死亡や大けがなど人身事故が生じる高度な危険があります。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

 「してはいけないこと」を示します。

 「しなければならないこと」を示します。


警告

 **電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。**

電源コードを持って引っ張ると電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。

 **長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。**

漏電や絶縁低下による火災や感電の原因になります。

 **リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。**

液漏れや故障の原因になります。

❗ お手入れのときは電源を切り、ACアダプターを使用しているときは、電源プラグを抜いてください。また、接続しているコード類をすべて取り外してください。

感電の原因になります。また、コード類が傷付くと、火災や感電の原因になります。

❌ 指定の方法以外で充電しないでください。

指定の方法以外で充電すると、内蔵バッテリーが発熱、発火、破裂の原因になります。

❌ 付属のACアダプター以外は使用しないでください。また、他の機器に付属のACアダプターを使用しないでください。

火災や故障の原因になります。

❌ 本製品の各端子には、定められたもの以外は接続しないでください。

火災や感電の原因になります。

❌ 本製品を次のような場所に置かないでください。

火災、感電、性能や寿命の低下の原因になります。

- 熱器具のそば
 - 火のそば
 - 直射日光のあたる場所
 - 炎天下の車内
 - 湿気やほこりの多い場所
 - 結露や振動が起きる場所
 - マグネットの近くなどの磁場が発生する場所
-

❌ 本製品は防水構造ではありません。水場や風呂場などの水にぬれる場所に置かないでください。また、本製品に水を掛けしないでください。

漏電やショートによる火災や感電の原因になります。

❌ 不安定な場所や滑りやすい場所に置かないでください。

落下によるやけがの原因になります。

❌ 本製品の上にものを載せないでください。また、本製品の上に乗らないでください。

火災や感電の原因になります。

その他の注意事項

本製品は、2.4GHz/5GHz帯域の電波を使用しています。本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の調理器具・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 1.本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、弊社のサービス窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3.その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社のサービス窓口へお問い合わせください。

■ 本製品について

- 本製品の特性上、使用中に本体が熱くなることがあります。低温やけどを防止するため、使用中に長時間触らないようにしてください。
- 通信環境によっては、投影品質、音声品質などで十分な性能が得られない場合があります。
- 本製品の特性上、お使いのパソコンやスマートフォン、接続機器などの環境によっては、スタンバイ、休止/スリープ状態に入ると、本製品から切断されることがあります。スタンバイや休止/スリープ状態になる設定は解除してください。
- 本製品が切断された場合は、再度接続し直してください。

- 本製品は日本国内専用です。日本国外でのご使用は保証等のサポート対象外となります。

■ 使用場所について

- 平らな安定した面に置いてください。不安定な場所に置くと本製品が落下し、本製品および接続機器が破損する恐れがあります。
- 各ケーブルを張らないように置いてください。ケーブルを張ったまま取り付けると、ケーブルが引きずられて本製品が落下し、本製品および接続機器が破損する恐れがあります。

■ お手入れについて

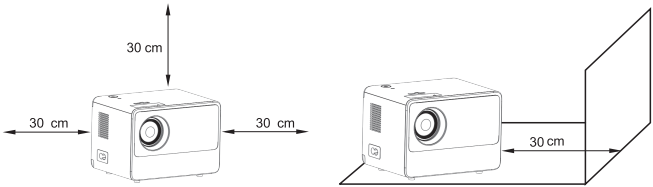
本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

■ 廃棄について

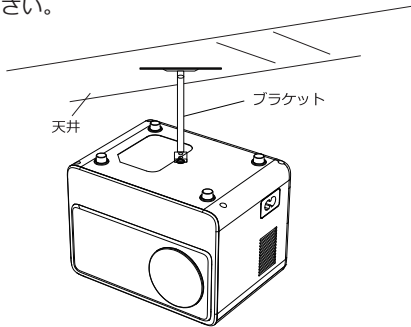
本製品の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めに従って処理してください。

プロジェクターの設置

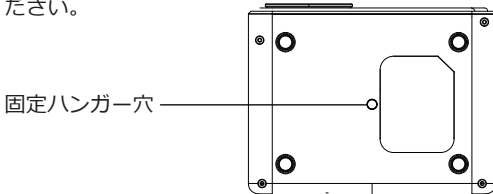
プロジェクターは壁との間は30cm以上離して設置してください。プロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。



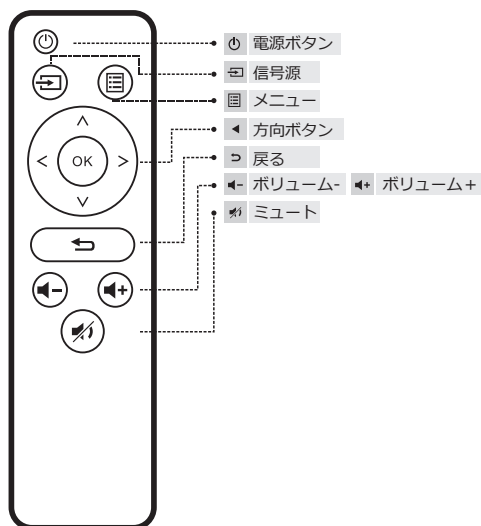
プロジェクターを天井に取り付ける場合は、次の図を参照してください。プロジェクターが過熱しないように、プロジェクターを熱源の近くに設置しないでください。



プロジェクターを天井に取り付けるときは、適切なネジを使用し、ネジの深さがプロジェクターの落下を防ぐのに十分であることを確認してください。



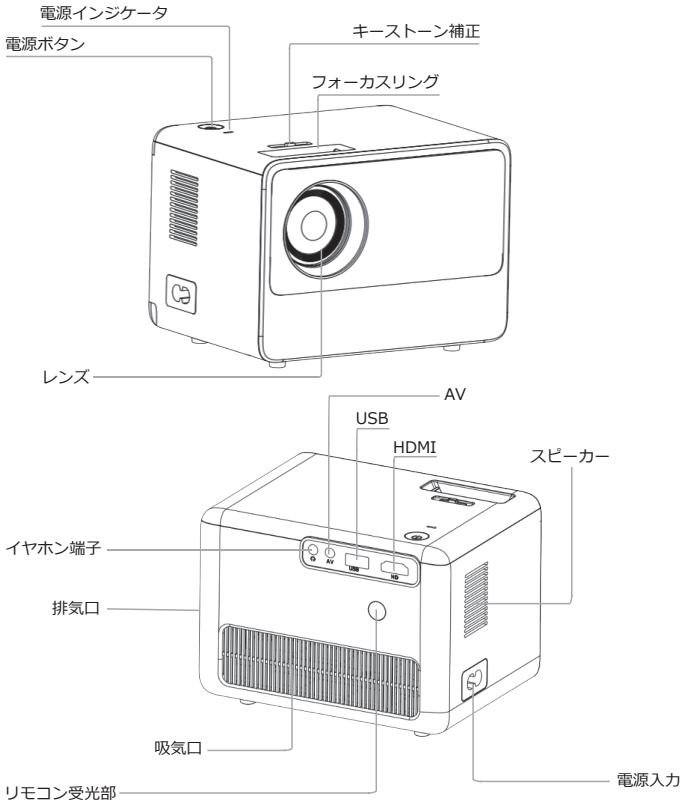
リモコン各部の名称



注意

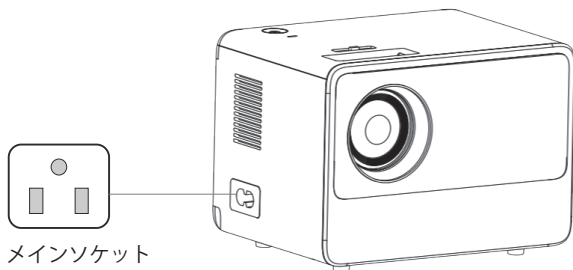
1. リモコンを水に浸けないでください。
2. リモコンを火の近くや濡れた場所、暑い場所に置かないでください。
3. 古い電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
4. 電池の液漏れを防ぐため、長時間リモコンを使用しない場合は電池を取り外してください。
5. リモコンを赤外線受信機に向けてご使用ください。

プロジェクター各部の名称

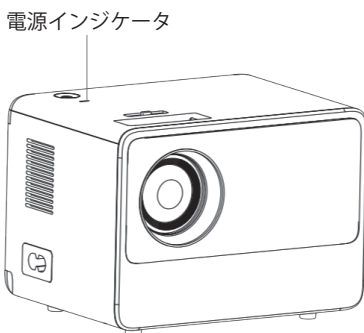


1. プロジェクターを電源に接続する。

a. 電源ケーブルをプロジェクターに接続します。

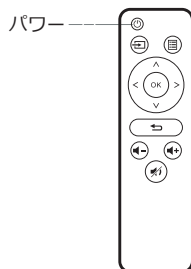
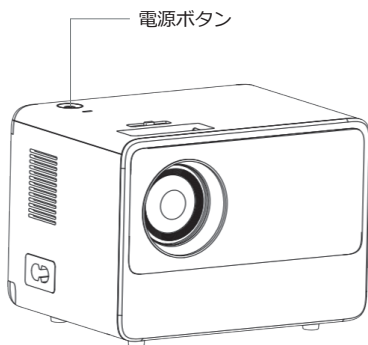


b. 電源に接続すると、インジケータライトが表示されます。



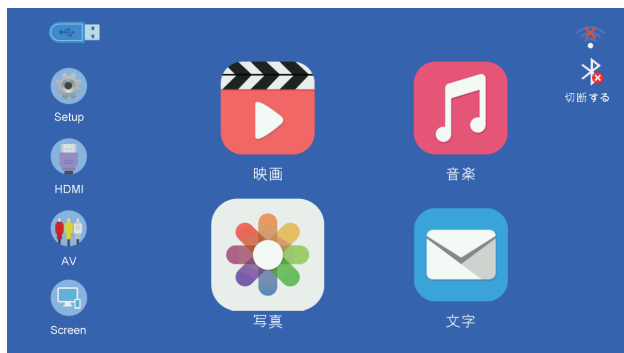
2.電源ON/OFF

プロジェクターまたはリモコンの "⏻" ボタンを押して電源を入れます。
電源入れたら、プロジェクターはスタンバイ状態になります。



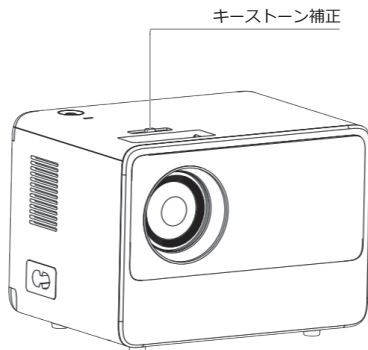
3.マルチメディア起動画面

5～10秒後、マルチメディア画面が表示されます。



4.焦点とキーストーン補正

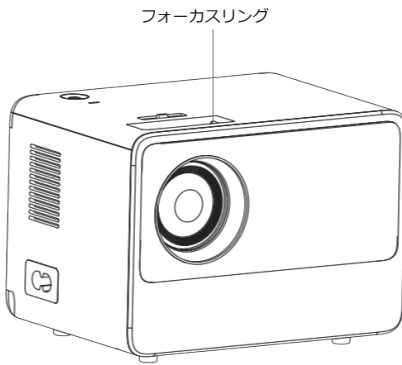
a.画像が台形で表示されている場合は、キーストーンリングを回してキーストーン補正機能で調整できます。これで画像が正しく表示されます。



b.焦点の調整

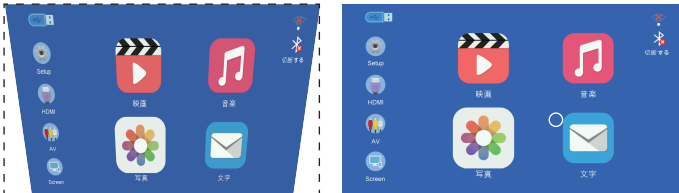
プロジェクターが画面に対して水平になっていることを確認し、フォーカスリングを回して焦点を調整します。

調整を確認するために、ビデオまたはメニューを表示できます。



問題と解決策

このプロジェクターは光学式台形補正機能を使用しているため、画像は次のように調整できます。

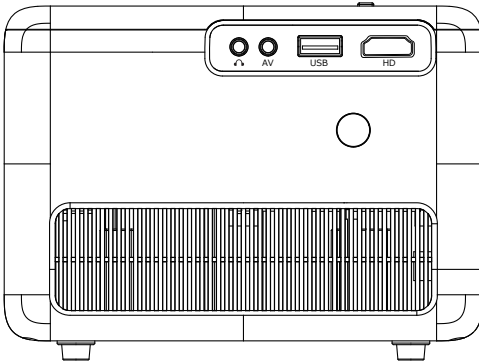


ただし、このプロジェクターには水平台形補正機能はありません。プロジェクターはスクリーンに対して水平に設置する必要があります。この問題が発生した場合は、プロジェクターが投影スクリーンに対して水平に配置されていないか、または投影スクリーンが垂直に配置されていないことが原因と考えられます。

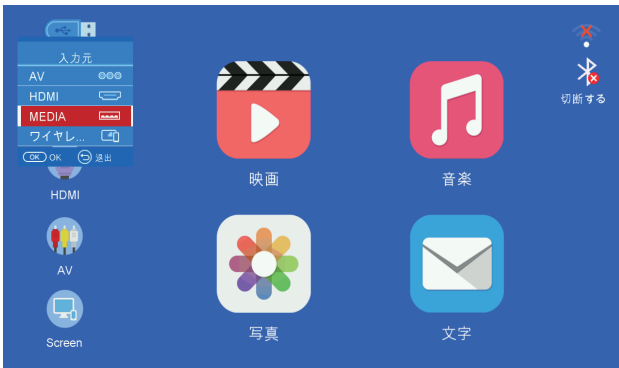
解決方法：プロジェクターの位置がスクリーンに対して水平になるように調整してください。

1.USBカードからメディアを再生する

a.USBカードをスロットに挿入します。



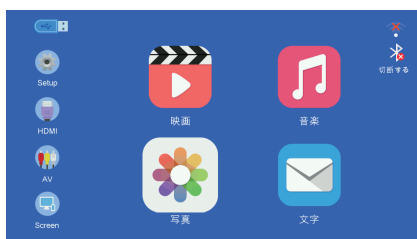
b.メニューからソースとしてMEDIAを選択します。



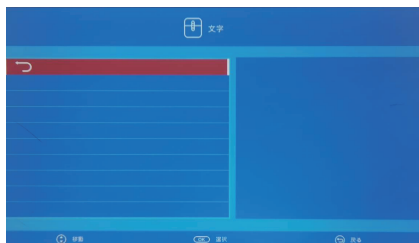
サポートされているマルチメディアフォーマット

マルチメディア	音声ファイル	MP3/WMA/OGG/AAC/MA4/FLAC/APE/WAV
	画像ファイル	JPEG/BMP/PNG
	ビデオファイル	MPEG1, MPEG2, FLV, MPEG4, RM, AVI /RMVB, MOV, MKV, DIVX, FVOB M-JPEG (only unsupported 640*480)
	テキストファイル	TXT

c.表示したいコンテンツを選択します：
ビデオ/音楽/写真/テキスト。

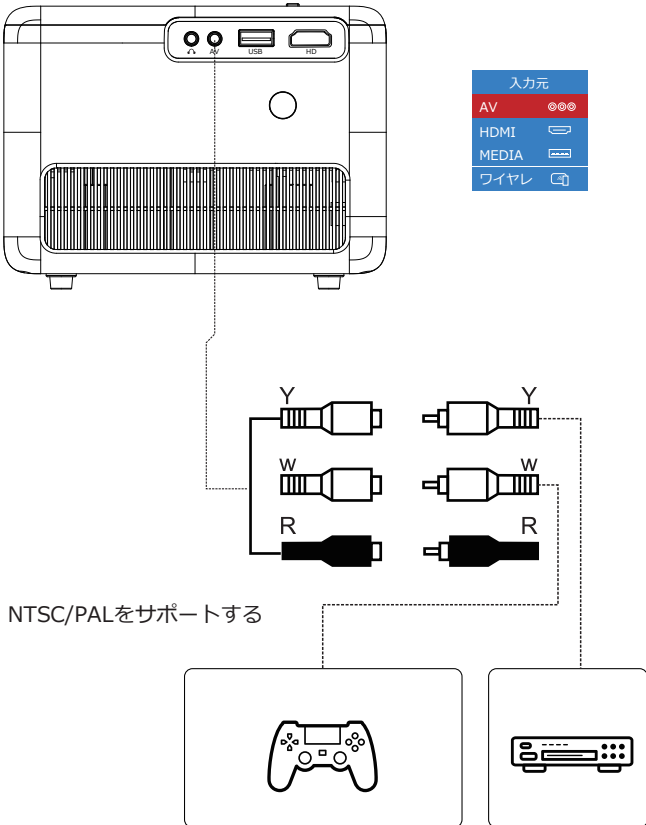


d.表示したいファイルを選択します。表示するにはリモコンの「▶」ボタンを押します。



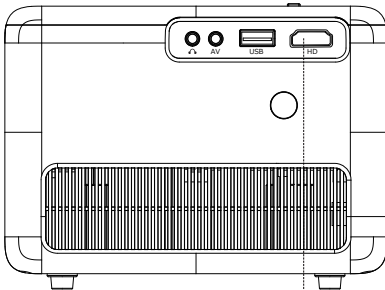
2.AVビデオ接続

下図のように、3-in-1AVケーブルを使ってプロジェクターに接続します。接続したら、AV信号ソースを選択します。



3.HDMI接続

HDMIスロットを使用して、コンピューターとHDMI対応機器を接続します。接続したら、HDMI信号ソースを選択します。



入力元	
AV	⦿⦿⦿
HDMI	⦿
MEDIA	⦿⦿⦿
ワイヤレ	⦿

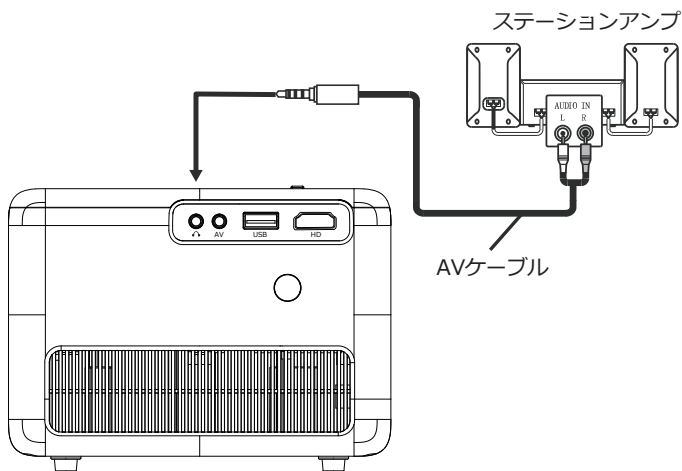
サポートされている解像度：

576P、480P、720P、1080P、640×480、800×600、1024×768、1280×1024、1280×720、1440×900、1366×768、1920×1080、1280×800、1440×960、680×1050

4.3.5mmオーディオ接続

3.5mmオーディオジャックを使ってヘッドフォンとスピーカー機器を接続します。

注意：このプロジェクターはドルビーサウンドをサポートしていません。



メニュー設定

1. メニューを使う

メニューを表示させて、映像などの調整や、各種設定の変更ができます。
操作のしかた

- a. メニューを開くには本体またはリモコンの[メニュー]キーを押します。
- b. メニューが表示されたら、▲▼キーを使ってメインメニューの項目のいずれかを選択します。調整したい項目が表示されたら、「OK」キーを押してサブメニューに入ります
- c. ▲▼キーでサブメニューで設定／調整したい項目を選択し、「OK」キーを押します。設定／調整画面が表示され、◀/▶キーまたは▲▼キーを使用して設定や調整をします。
- d. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定や調整をします。
- e. 「メニュー」キーを押すと一つ前のメニューに戻ります。
- f. 終了するには、もう一度「メニュー」キーを押します。メニューが終了し、設定や調整した内容が自動的に保存されます。

2.写真サブメニュー

項目	設定・調整範囲	説明
写真モード	標準	明るさと色の再現性のバランスがとれたモードです。
	中	自然な色再現性を重視したモードです。
	ダイナミック	動画の表示に最適なモードです。
	ユーザー	"調整後、映像モードはユーザーモードとなります。 調整されていない項目は調整前のモードの値となります。"
明るさ	0~100	映像全体の明るさを調整できます。
コントラスト	0~100	映像の最も明るい部分と暗い部分明るさの比率を調整します。
シャープネス	0~100	画像のシャープネスを調整します。
色の濃さ	0~100	画像の色の濃さを調整します。
色合い	0	画像の色合いを調整します。
色温度	標準	画像の色温度を調整します。
アスペクト比	16 : 9,4 : 3	画面サイズ・比率を設定します。



3.音声サブメニュー

項目	設定・調整範囲
サウンドモード	標準/ミュージック/ビデオ/ユーザー
高音	-50~50
低音	-50~50
バランス	-50~50
サラウンドサウンド	オン/オフ
自動音量	オン/オフ



4.投影サブメニュー

項目	設定・調整範囲
ネットワーク情報	wifi接続
ズーム	75%~100%
画面回転	標準/天井吊り/背面/背面吊り



5.時間サブメニュー

項目	設定・調整範囲	説明
OSDタイム	5秒/15秒/30秒/オフ	本製品前面のスイッチ操作をしないで おくと、自動的に消えます。
スリープタイマー	オフ/0.5h/1h/1.5h/2h/3h	指定時間後本機の電源が自動的に切れ ます。
自動スタンバイ	3h/4h/5h	自動スタンバイ機能を有効にすると、次 のいずれかの場合に自動的に電源がオフ になります。



6.設定サブメニュー

項目目	設定・調整範囲	説明
OSD言語	英語/日本語など	メニューの表示言語を設定します。
ソフトウェアバージョン	デバイス情報	本機の状態に関する情報を表示します。
USBアップグレード	はい/いいえ	本機ソフトウェアバージョンを更新します。
ブルートゥース設定	利用可能なデバイス	Bluetooth アクセサリをペア設定します。
リセット	はい/いいえ	工場出荷時の状態に初期します。



スピーカーに接続する

1.メニュー設定>ブルートゥース



2. 「◀/▶」を押してブルートゥースを選択します。
3. 「利用可能なデバイス」を選択し、「OK」キーを押して、近くのブルートゥーススピーカーをスキャンします。



4. 検索リストからブルートゥーススピーカーを選択し、「OK」キーを押して接続します。

💡 チップ :

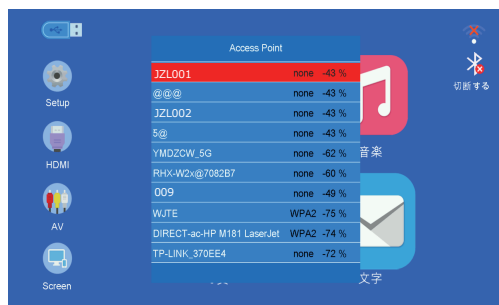
電源を入れる場合、またはブルートゥースをオンにする場合は、プロジェクターは最近、接続されているブルートゥーススピーカーを接続しようとしてくれます。

a. プロジェクターをWi-Fiルーターに接続します。

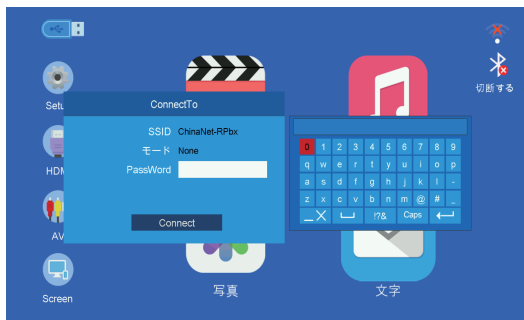
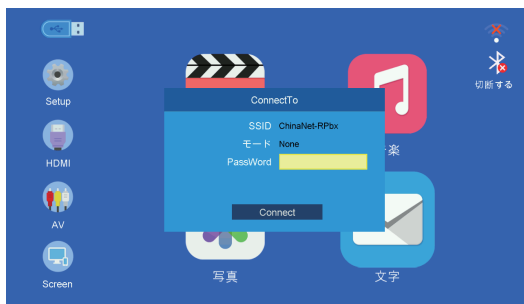
1. 本体またはリモコンの[メニュー]キーを押します。



2. 投影サブメニューを選択して、ネットワーク情報に入り、プロジェクターは近くのWIFIをスキャンします。

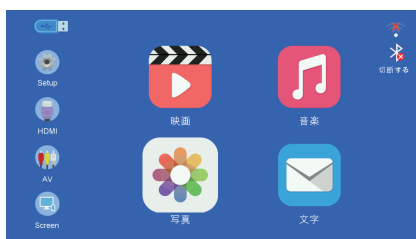


3.検索結果リストから必要なWIFIを選択し、パスワードを入力します。



スクリーンミラーリング

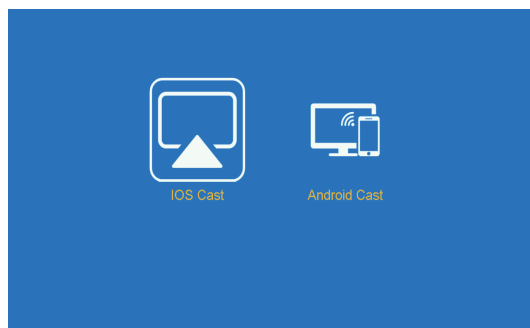
- 1.入力ソースリストで「Screen」を選択します。
- 2.「OK」ボタンを押してインターフェースに入ります。
- 3.インターフェースに入った後、ご利用になるシステムを選択して、作を進んでください。



図一

IOSシステム用

- 1.入力ソースリストで「Screen」を選択して、「IOS Cast」インターフェースに入ります。



2.IOSデバイスとプロジェクターが同じWIFIに接続します。

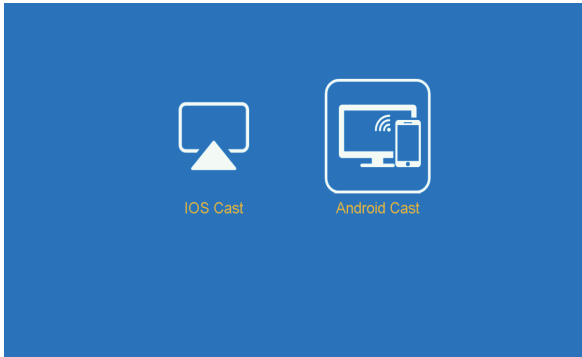


3.IOSデバイスで画面ミラーリングをオンにして、検索結果から「DBPOWER-XXXXXX」を選択して接続してください。

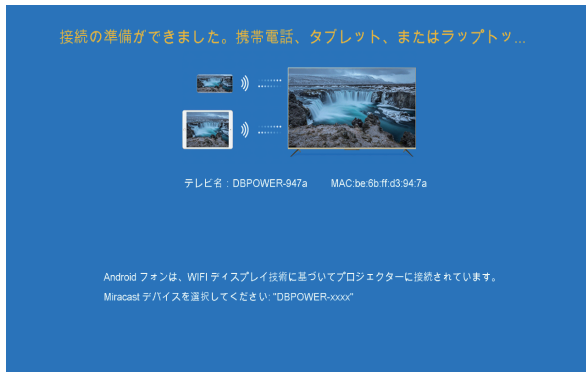


Androidシステム用

1.入力ソースリストで「Screen」を選択して、「Android Cast」インターフェイスに入ります。



2.Androidデバイスとプロジェクターが同じWIFIに接続します。



3.Androidデバイスで画面ミラーリングをオンにして、検索結果から「DBPOWER-XXXXXX」を選択して接続してください。

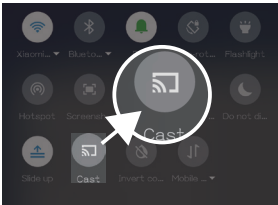


図1

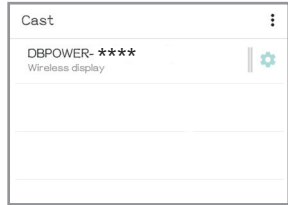


図2

⚠️ ご注意：

- 1.一部のAndroidデバイスは、互換性のために、スクリーンミラーリング機能が搭載されていない場合がございます。
- 2.一部のAndroidデバイスは、プロトコルの制限により、音声なしで画面だけを転送する場合がございます。

よくある質問

本機のトラブルが発生したら、次の情報を参照してください。症状が改善されないときは、販売店もしくはサービス実施店まで連絡してください。

Q:電源が入らない

A:電源コードのプラグやコネクタが正しく接続されているか確認してください。

Q:使用中に電源が切れます。

A:周囲の温度が高くないか確認してください。

吸気口や排気口がふさがれていないか確認してください。

Q:画面に映像が出ない

A:すべてのケーブルや電源の接続に間違いなく、しっかりと接続されているか確認します。

コネクタのピンが曲がっていたり壊れたりしていないか確認します。

本機の電源が入っているか確認します。

正しい入力先が選択されていることを確認します。

投影したい動画がコンテンツ保護のために出力を制限されていないかご確認ください。

Q:音が出ない

A:正しい入力先が選択されていることを確認します。

AV ミュート機能、ミュート機能がはたらいっていないか確認します。音量を確認してください。

パソコンや AV 機器が、本機と正しく接続されていることを確認してください。

Q:本体にACアダプターを接続し、ACコンセントに電源プラグを差し込むと、パチッと火花が出でました。

A:本体の電源を切った状態でACコンセントに電源プラグを差し込んでください。

ACアダプターや電源プラグにごみやほこりが付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってください。

ぬれた手でACアダプターや電源プラグに触れないでください。

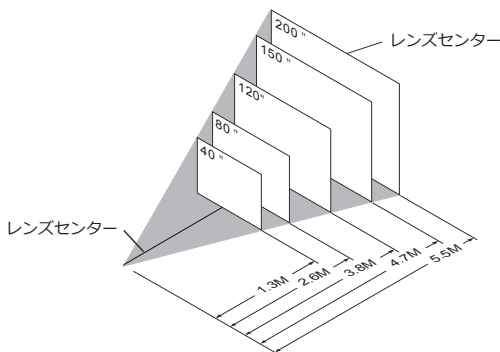
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

製品の特徴

1. 基本情報

イメージング技術	LTPS LCD	色再現	16.7kk
解像度	1280 * 720	キーストーン	マニュアル補正±15°
最高解像度	1920*1080	電源電圧	100V-240V 50/60Hz
ライト	LED	総パワー	65W (最大)
寿命	50000時間	入力	USB/HDMI/AV
レンズ	マルチチップコーティング	出力	イヤホンUSB (5V-500MA)
動作モード	レンズ (F=135) マニュアル操作	スピーカー	4Ω 3W
		サポートシステム	マルチメディアサポート
		サポート言語	20言語をサポート
投写推奨距離	1-4.2M	サイズ	221*174.7*87.3mm
投写サイズ	32-200インチ	縦横比	1.29 : 1
アスペクト比	4:3/16:9	重量	1.2KG

2. 投写距離と画面サイズ



参考投写距離と画面サイズは、プロジェクターの構成によって異なります。

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理・交換を行うことを約束するものです。

■保証規定

- 1.取扱説明書、本体貼付ラベルなど注意書きのしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理また交換いたします。
- 2.保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合は、お買い上げの販売店またはアフターサービスメールにお問い合わせください。
- 3.保証期間内おきましても次の場合には有料修理になります。
 - ①.使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷。
 - ②.お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③.火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④.お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などの接触による故障及び損傷
 - ⑤.本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 4.本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書はお客様の法律上お権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理などについて、お買い上げの販売店またアフターサービスメールにお問い合わせください。

品番	K11
保証期間	お買い上げ 年 月 日より1年間
お客様	ご住所 〒
	TEL
	様
販売店	

DBPOWER

